



校長から宗高・宗中のみなさんへⅡ ③⑥

令和3年2月26日（金）

「卒業おめでとう！」

高校3年生のみなさん、卒業おめでとうございます。

宗高・宗中でのそれぞれ3年間あるいは6年間を見事に全うし、晴れの卒業の日を迎えられることは私たち教職員一同にとっても何よりの慶びであります。

みなさんにとっての2年生の終わりからのこの約1年間は、新型コロナウイルス感染拡大に翻弄され、鳳雛祭や体育祭といった大切な学校行事ができなくなるなど、今までは当たり前に来ていたことが今まで通りにできない悔しさや寂しさ、辛さを「これでもか!」というくらい味あわされたと思います。この1年のみなさんの気持ちは察して余りあるものがあります。しかし、そんな厳しい最終学年にあっても、試練の一つ一つに常に前向きかつ柔軟に、落ち着いて取り組み、それを見事に乗り越えたみなさんは、学業、部活動の両面において例年にも増しての素晴らしい成果をあげてくれました。それはまさに宗高生の気概と力を如何なく内外に示した姿でした。

この新型コロナウイルスに翻弄された年に高校3年生であったみなさんは、みなさんにしかわからない複雑な思いを抱えながら、決して投げやりになることなく、学校生活や受験生活をはじめ全ての面で本当に!!よく頑張ってくれたと思います。みなさんのがんばりを心から讃えたいと思います。

この新型コロナウイルス禍は、間違いなくこれまでの私たちの生き方や生活、あるいは価値観を根本から見直すきっかけになることでしょう。このことを身をもって経験したみなさんは、「コロナ後」の新しい時代や社会を創っていく「フロントランナー（先駆者）」であります。この難局に怯むことなく見事に乗り越えたみなさんには、これからの「コロナ後」の時代や社会の中核として、先頭に立って大いに活躍することが期待されています。

禅の言葉に「大地黄金」という言葉があります。それは「自分がいる場所で、主体的に、力いっぱい、ものごとに取り組んでいけば、その場所が黄金に輝いてくる」という意味だそうです。自分を輝

かせてくれる場所が、始めからどこかにあるわけではなく、どんな場所であっても、そこで自分のできる限りを尽くすことによって、その場所が輝き、さらに自分も輝いてくるということですね。

仕事を例にとれば、最初から「自分の力を発揮させてくれる仕事」が用意されているわけではなく、御縁をもらった仕事の中で、その仕事にひたむきに向き合い、自分の力を思い切り発揮することによって、その仕事が自分にしかできないものになっていくということでしょうか。裏方仕事も力いっぱい、表舞台でも力いっぱい取り組み、弛^{たゆ}まずに努力を続けていけば、きっと、いつの日か大地が黄金の実に輝く「大地黄金」になるのだと思います。

これから新たなステージに立つみなさんには、中村 哲 先生がその生き方によって示された、「人の『思い』を大切にし、『本質』を見極め、『行動』する。」ことを忘れずに「自分を大切に、自分と同じように他人^{ひと}も大切に」「明るく、楽しく、いきいきと。」進んでいってほしいと願います。

私たちにとっていちばん大切なことは、「自分の人生」を生きることだと思っています。「誰か」に決められる、「何か」に決められるのではなく、自分の意思と経験と努力で自分の人生を紡ぎだしてゆくこと。それ以上に大切なものはありません！

あらためて、3年生のみなさん卒業おめでとう！

さあ、力強く新たなステージに踏み出していきましょう！ みなさんのこれからの希望に満ちた^{さいわい} 幸せな人生を祈ります。

校長 深瀬 信也